

「被災災者支援コーディネーター」の育成にむけて

災害支援の文化を創造する

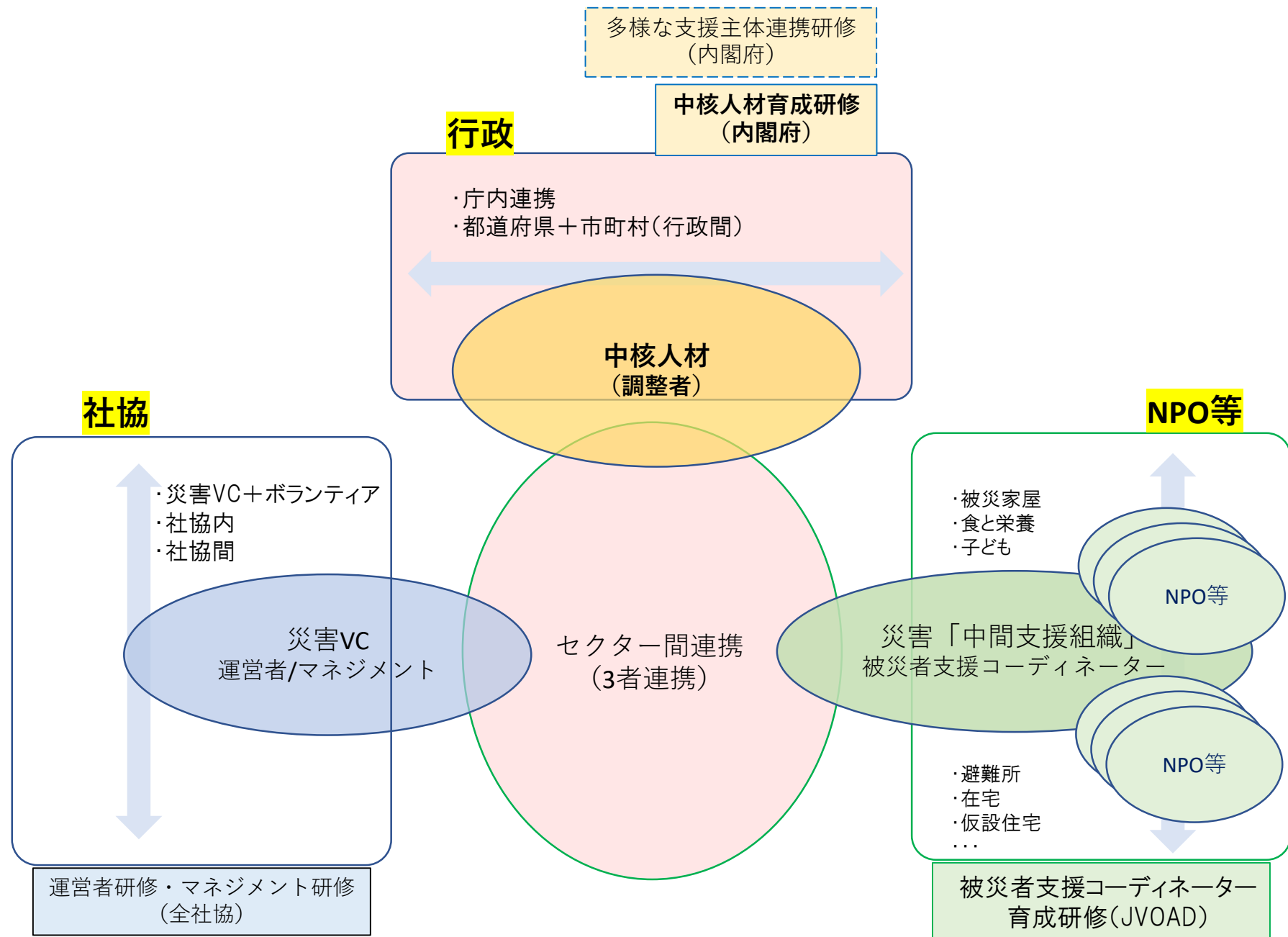


名称：特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
英名：Japan Voluntary Organizations Active in Disaster
略称：JVOAD（ジェイボアード）

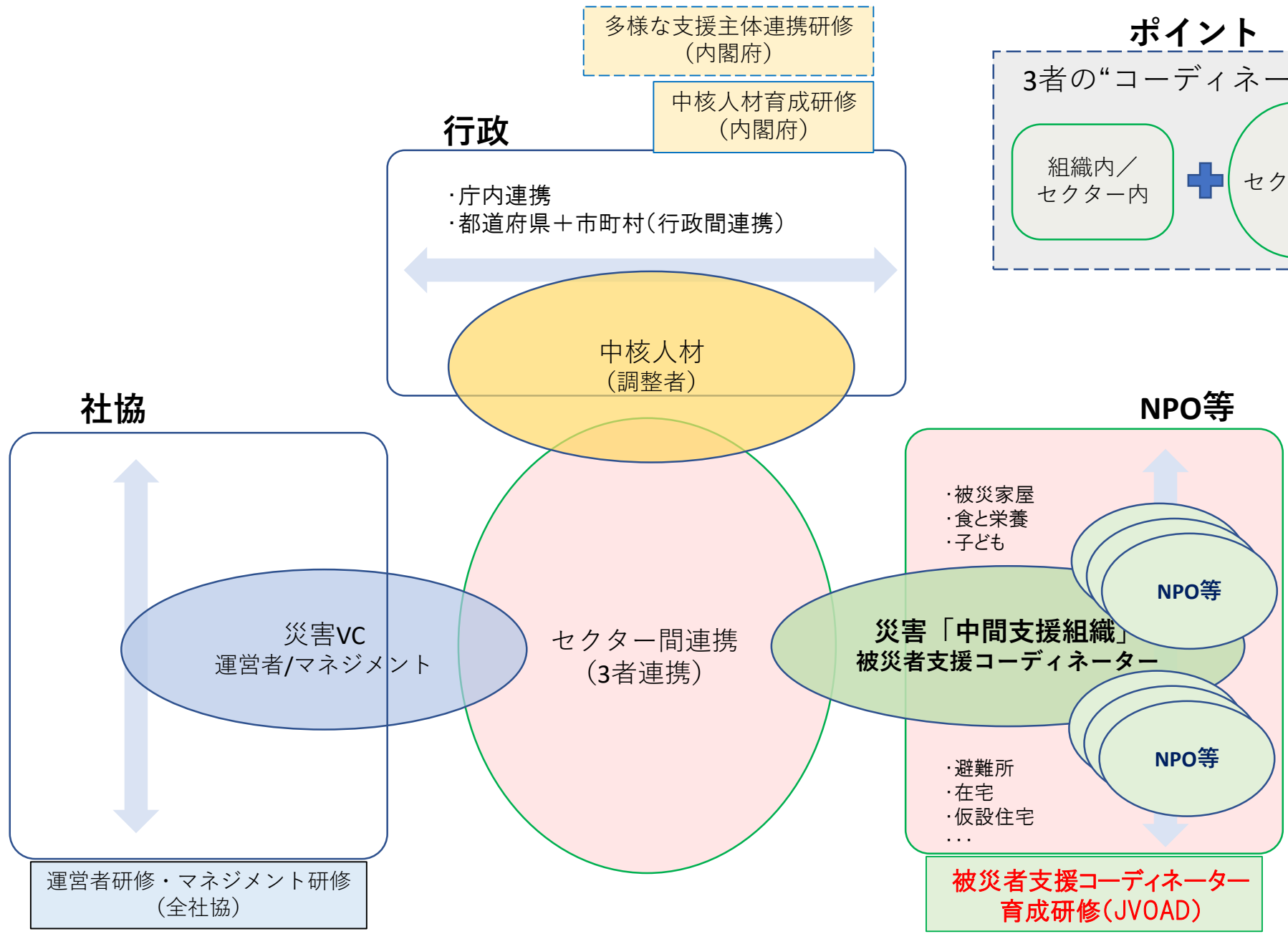
NPO等への活動支援と活動調整（情報共有会議）

年	災害	団体数	情報共有会議
2015	関東・東北豪雨	約70団体	常総市災害支援情報共有会議
2016	熊本地震	約300団体	熊本地震・支援団体火の国会議
2017	九州北部豪雨	約150団体	九州北部豪雨支援者情報共有会議（県域+朝倉市、日田市）
2018	大阪北部地震	約40団体	おおさか災害支援ネットワーク（OSN）災害時連携
	西日本豪雨	約160団体 約100団体 約30団体	災害支援ネットワークおかやま会議（県域+倉敷） 平成30年7月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議 えひめ会議（県域+西予、宇和島）
	北海道胆振東部地震	約50団体	支援団体情報共有会議
2019	令和元年8月豪雨	約120団体	葉隠会議（佐賀）・情報共有会議（福岡）
	房総半島台風	約50団体	災害支援関係者打合せ会（千葉）・技術系団体による会議
	東日本台風	約500団体	災害VC連絡会議（宮城）・丸森町情報共有会議 台風19号被害対応の会議（福島）・いわき市支援者情報共有会議 被災者支援いばらきネットワーク会議（茨城） がんばろう栃木！情報共有会議（栃木） 埼玉県情報共有会議（埼玉） 台風19号かながわ災害支援者連絡会（神奈川） 長野県災害時支援ネットワーク会議（長野） など
2020	令和2年7月豪雨	約200団体	情報共有会議（福岡） 情報共有会議（大分） 火の国会議（熊本）
2021	令和3年7月・8月の大雨	約180団体	情報共有会議（静岡） 葉隠会議（佐賀） 福岡県における大雨災害に関する情報共有会議（福岡）

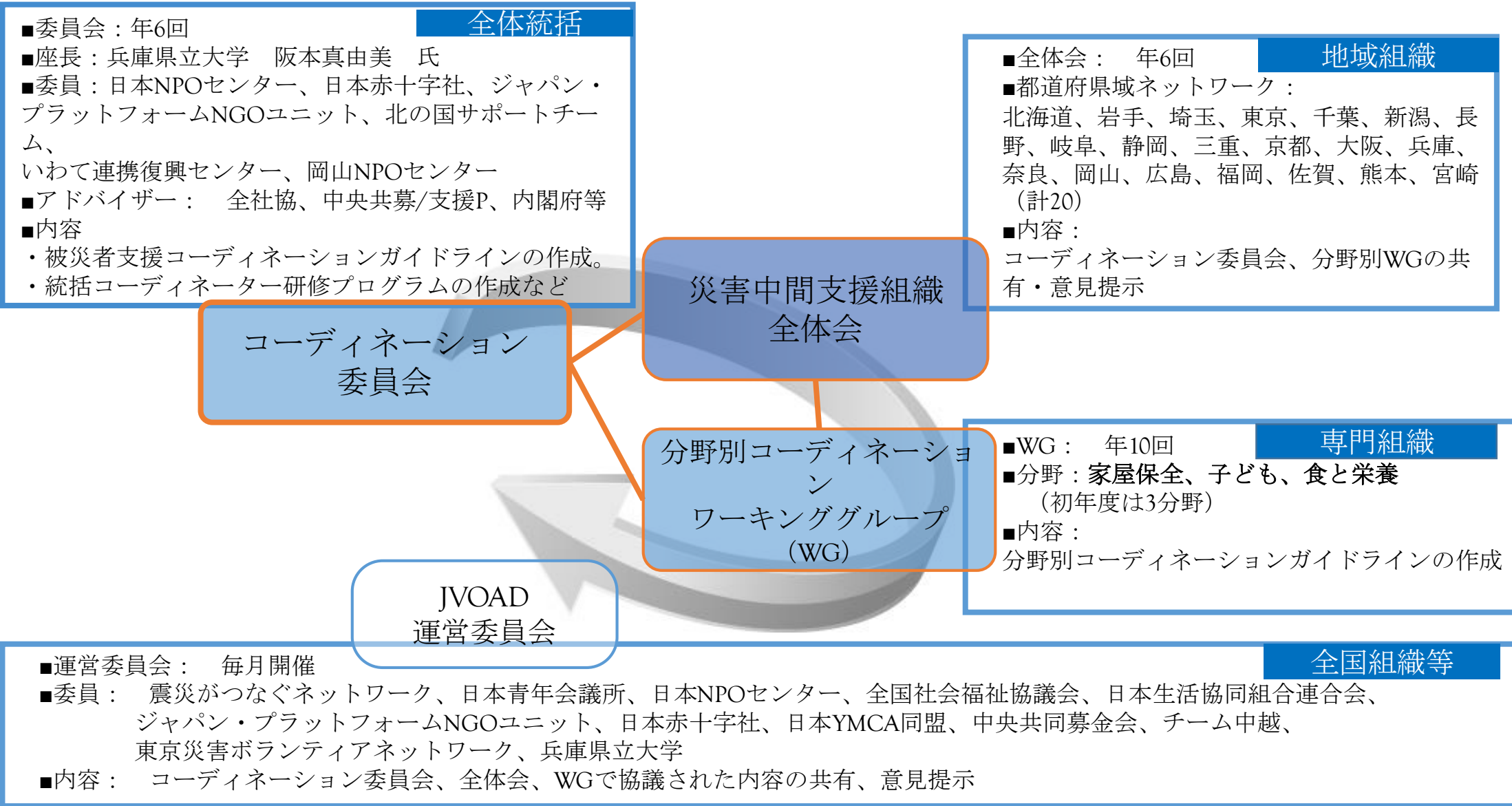
情報共有会議が地域ごとに立ち上げられるようになったが、課題解決につながらない事例も・・・



2022年度 開始予定



2022年度 開始予定



【ガイドラインの目的】

- ・日本のどこで災害が起きても支援のモレ・ムラを無くし、必要な支援が効果的に届けられるための被災者支援のコーディネーション」の基盤を整備する
- ・これまでの災害対応の経験等を可視化するとともに、そこから導きだされる共通の考え方をなど提示する。
- ・都道府県域などの地域の状況に適した被災者支援の体制づくりが平時から進められることを願う。

【ガイドラインを読んでほしい対象者】

- ① 災害中間支援組織で活動するスタッフなど被災者支援のコーディネーションにかかわる人を対象に作成した。今後、本ガイドラインを活用して、地域において災害中間支援組織の体制づくりや、そこで働くコーディネーターの育成にも役立ててほしい。
- ② 災害支援の重要なパートナーである行政や社協の職員など、被災者支援の関係者の皆様にもコーディネーションの共通認識を持ってもらうために読んでいただきたい。
（「災害中間支援組織」、「被災者支援コーディネーション」の説明はのちに示す。）

●被災者支援コーディネーションの定義（案）

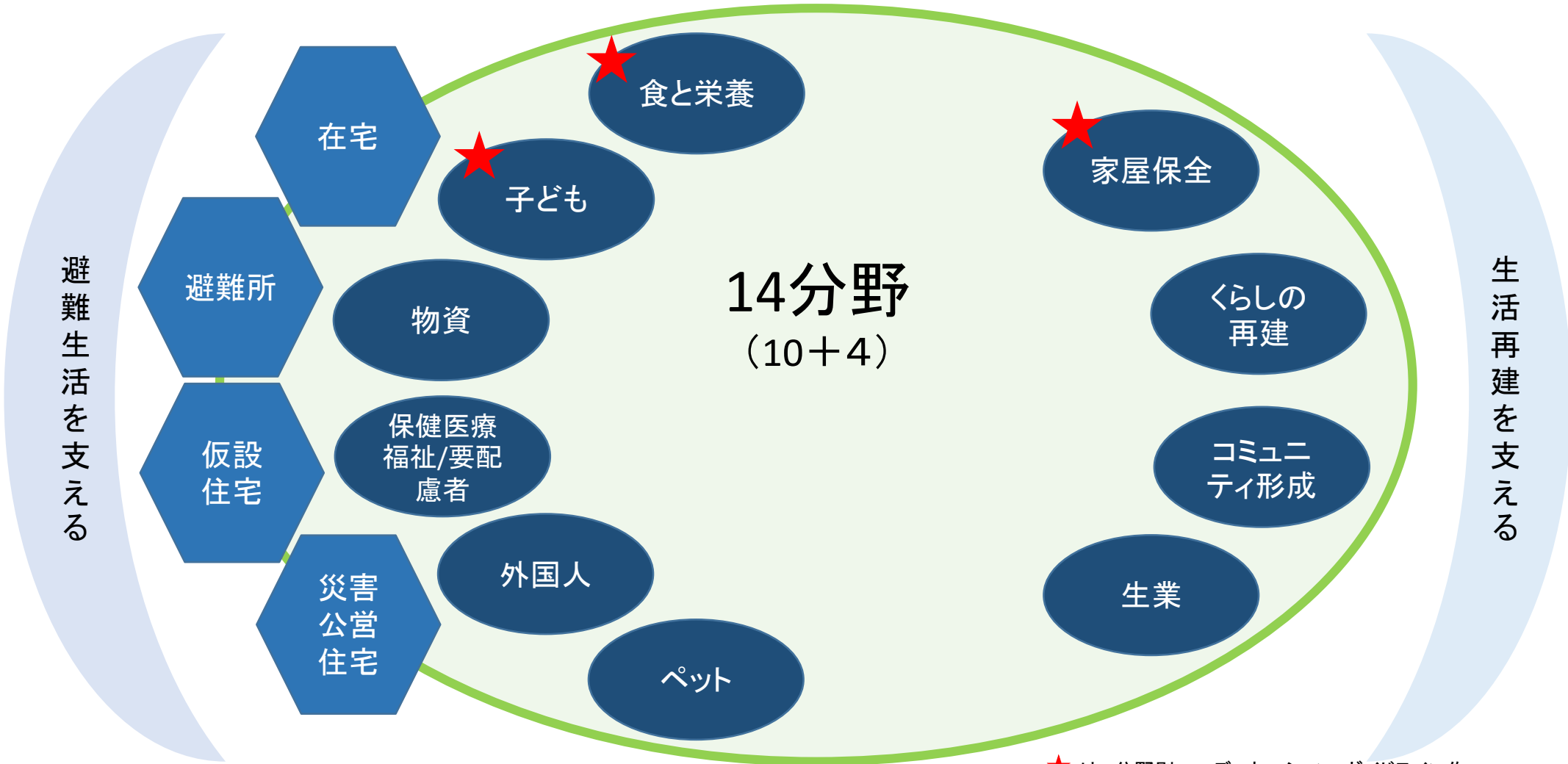
「被災者支援の関係者の連携を促進し、被災者のニーズと被災者支援の全体像を把握・共有し、被災地での活動を支援し、課題を解決するための調整を行う活動」

「被災者支援コーディネーション」 = ①連携促進
+ ②ニーズと支援の全体像把握
+ ③活動支援
+ ④課題解決

分野別コーディネーションのガイドラインについて

項目	家屋保全	子ども	食と栄養
場所・人	家屋そのもの、敷地内、動線、コミュニティ施設	乳幼児、小・中学生、高校生、大学生、学校に行っていない/支援が必要な若者、保護者など	避難所、指定外避難所・在宅避難・車中泊、仮設住宅など
時間軸	発災直後から家屋復旧のめどがつくまで	<ul style="list-style-type: none"> ・学生：発災～学校が開始され通常の学校生活を送られるようになるまで ・学生以外：発災～平常時のサービスが開始され、支援が必要な子どもに行き届いている状況になるまで・・・ 	発災直後の食料の確保から、安心できる食環境が整い、健康が維持できる状態になるまで確認していく必要がある。自炊できる環境が整い、日常的な食生活が整うまでが目安となる。
対象者	行政、自衛隊、消防、NPO、業者、業界団体、災害VC、	行政、NPO、企業・・・	行政、NPO、住民組織、企業、JC、日赤、生協・・・
活動内容	壁床、屋根、カビ、消毒、伐木、土砂/廃棄物撤去（重機・手作業）、貴重品取出し（重機）、法面	居場所、施設再開、心のケア、給付金、権利保護・・・	食材、調理された食べ物、調理機具・調理家電・・・

被災者支援コーディネーション 支援分野の全体像（14分野）



★ は、分野別コーディネーション・ガイドライン作成

被災者支援コーディネーションを担う 「災害中間支援組織」 (都道府県域のネットワーク)

北海道	北の国災害サポートチーム
岩手県	いわてNPO災害支援ネットワーク (INDS)
埼玉県	埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」
千葉県	災害支援ネットワークちば (CVOAD)
東京都	東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議
長野県	長野県災害時支援ネットワーク (N-net)
静岡県	南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会/ 静岡県災害ボランティア本部・情報センター
三重県	みえ災害ボランティア支援センター
京都府	京都府災害ボランティアセンター、災害時連携NPO等ネットワーク
大阪府	おおさか災害支援ネットワーク
兵庫県	災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議
奈良県	奈良防災プラットフォーム連絡会
岡山県	災害支援ネットワークおかやま/NPO法人岡山NPOセンター
広島県	災害支援ひろしまネットワーク会議
福岡県	災害支援ふくおか広域ネットワーク (Fネット)
佐賀県	佐賀災害支援プラットフォーム
熊本県	特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク
宮崎県	特定非営利活動法人宮崎文化本舗

※現在検討中のNWあり

研修プログラムのイメージ（2022年度 検討予定）

導入	具体的な活動	平時の活動
<p>【被災者支援とは】</p> <ul style="list-style-type: none">・ NPO等の多様な支援・ これまでの変遷など・ 連携の基本的な考え <p>【被災者支援コーディネーションとは】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 概要、役割・ 対象分野、期間など <p>【多様な支援について】</p> <ul style="list-style-type: none">・ NPO等の多様な支援・ 社協/災害VCによる支援・ 行政による支援	<p>【情報共有会議】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会議の設置運営・ 情報発信 <p>【ニーズと支援の把握】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 初動調査・ 各種アセスメント・ 情報の整理 <p>【活動支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各種サポート・ マッチング <p>【分野別コーディネーション】</p>	<p>【体制の検討】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 被災者支援コーディネーションの体制・ 三者連携体制・ 支援体制、受入れ体制 <p>【平時の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ネットワークづくり・ 担い手育成・ 研修、訓練

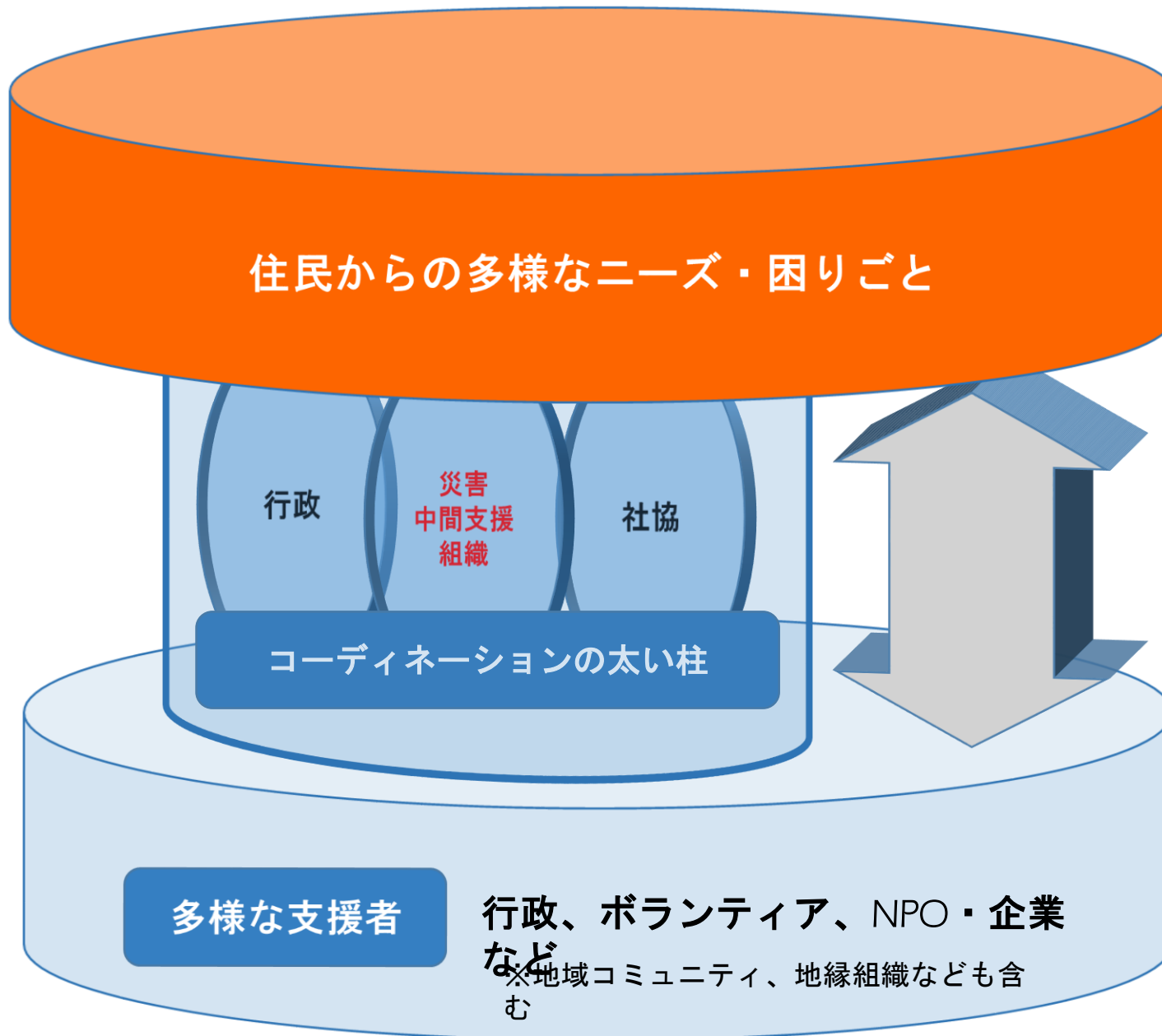
対象： ①災害中間支援組織、②支援関係者

方法： 講義＋演習など（※講師陣の検討）
内閣府、全社協などの研修との整合性

被災者支援コーディネーション 支援分野の全体像

■避難生活を支える（場所4分野＋テーマ6分野）

	在宅 (指定避難所以外含)	避難所 (福祉避難所含)	仮設住宅 (建設、みなし含)	復興公営住宅	(その他)
(全般)	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握（車中泊など含む） ・制度周知 ・家屋への対応 ・健康面、・経済面 ・移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント ・運営（寝床・衛生環境整備、情報提供、専門職チームとの調整、感染症対策、移動支援、炊き出し・サロン・相談会・リラクゼーション受け入れ調整） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引っ越し ・建物の不具合の解消 ・周辺環境の整備 ・移動支援 ・見守り相談 ・生きがいづくり ・サロン 	<ul style="list-style-type: none"> ・引っ越し ・見守り相談 	
食と栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・食材、特別食 ・調理された食べ物 ・調理機具・調理家電 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材、特別食 ・調理された食べ物 ・調理機具・調理家電 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材、特別食 ・調理された食べ物 ・調理機具・調理家電 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者の食
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所支援 ・緊急物資 ・ストレスとメンタルヘルスケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所支援 ・緊急物資 ・ストレスとメンタルヘルスケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所支援 ・ストレスとメンタルヘルスケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設再開 ・経済支援 ・権利保護啓発 ・復興計画
物資	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料、消耗品 ・嗜好品、個別ニーズ ・家電など 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料・消耗品 ・嗜好品・個別ニーズ ・家電など 	<ul style="list-style-type: none"> ・家電など ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点整備 ・倉庫管理 ・配送
保健医療福祉/要配慮者 (障害、高齢、LGBTQ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ ・福祉用具 ・ストレスとメンタルヘルスケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉難スペース ・福祉用具、個別ニーズ ・段差、不具合の解消 ・ストレスとメンタルヘルスケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ ・不具合解消 ・ストレスとメンタルヘルスケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設再開 ・相談窓口 ・経済支援 ・啓発
外国人	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語発信 ・実態把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語発信 ・実態把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳・通訳 ・相談窓口
ペット	<ul style="list-style-type: none"> ・食料、飼育用品 ・健康管理・トリミング 	<ul style="list-style-type: none"> ・食料、飼育用品 ・専用スペース、同居スペース ・健康管理・トリミング 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育相談 ・一時預かり

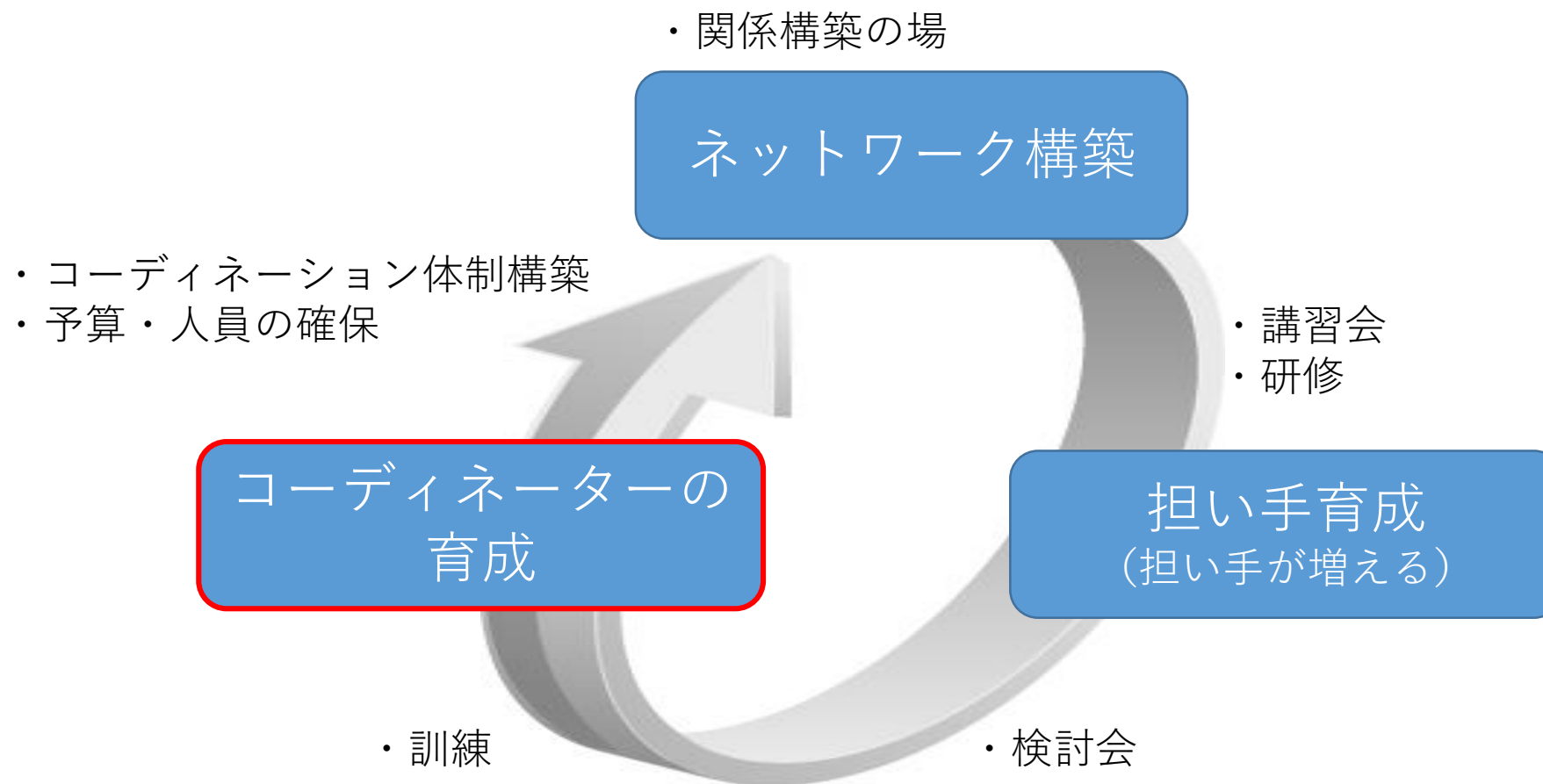


【課題と目標】

- ・モレ・ムラを防ぐ
- ・誰一人取り残さない

- ・ニーズを的確に把握
- ・必要な支援をつなぐ

- ・多様な主体の参加
- ・ネットワークの構築



サイクルを継続的に回す必要がある！